

松竹大歌舞伎

中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露
中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露

平成二十六年
度
（公社）全国公立文化施設協会 主催
東コース

製作
松竹



なかむらきちよしもん
中村吉右衛門



なかむらまたごろう
中村又五郎



なかむらかしろう
中村歌昇



なかむらからく 中村歌六
なかむらきんのすけ 中村錦之助
なかむらよねきち 中村米吉
なかむらはやと 中村隼人
なかむらたねのすけ 中村種之助
なかむらしげぶく 中村芝雀

双蝶々曲輪日記

一角 力場

濡髪長五郎
山崎屋与五郎
藤屋吾妻
放駒長吉
中村吉右衛門
中村種之助
中村米吉
中村歌昇

幕

大坂堀江の角力小屋では、人気力士の濡髪長五郎と素人力士出身の放駒長吉との取組が行われ賑やかな様子。濡髪最頂の山崎屋与五郎は、恋仲の藤屋の遊女吾妻を茶屋へ向かわせ、角力見物。しかし、予想に反して、勝利を取めたのは放駒。与五郎に負けを詫げる濡髪は、吾妻の身請を自分に任せてほしいと伝える。そして、放駒を呼び出すと、勝ちを譲ったことを明かし始め……

『双蝶々曲輪日記』の二段目にあたる「角力場」は、男伊達の達引を描いた世話狂言。体格も性格も対照的な濡髪と放駒の意地の張り合いが見どころの一幕をお楽しみ下さい。

三代目中村又五郎襲名披露

口上

中村又五郎
中村歌昇
中村吉右衛門
中村隼人
中村錦之助
中村米吉
中村歌昇

幕

平成二十三年に三代目中村歌昇が三代目中村又五郎の名を、四代目中村種太郎が四代目中村歌昇の名を襲名し、各地で襲名披露興行を行ってきました。播磨屋一門にとって大事な名跡を継承する又五郎と歌昇親子が襲名披露の口上を述べる一幕です。

三傾城反魂香

土佐将監閑居の場

近松門左衛門作
浮世又平光起
後土佐又平光起
又平女房おとく
土佐修理之助
狩野雅楽之助
土佐将監光信
中村又五郎
中村芝雀
中村隼人
中村錦之助
中村歌六

幕

山科に閑居する土佐将監光信の館にやって来た絵師の浮世又平と女房おとく。生まれつき吃音の又平は出世も出来ず、口が達者なおとくと細々と暮らしている。この度、弟弟子の修理之助が土佐の苗字を与えられたことを知り、又平も苗字が欲しいと懇願する。しかし、将監が拒むので、又平は手水鉢に自画像を描いて、死を決意するのだが……

近松門左衛門が書いた『傾城反魂香』の上巻の切にあたるこの場は、通称「吃又」と呼ばれる人気の場面です。夫婦の愛と奇跡を描いた趣ある義太夫狂言をご覧下さい。

◆公演日程 ※公文協主催公演

※6/30 月	東京都江戸川区	江戸川区総合文化センター
※7/1 火	埼玉県熊谷市	埼玉県熊谷会館
※2 水	群馬県前橋市	ベイシア文化ホール
※3 木	群馬県高崎市	群馬音楽センター
※4 金	東京都府中市	府中の森芸術劇場
※6 日	北海道標津郡	中標津町総合文化会館
※7 月	北海道札幌市	札幌市教育文化会館
※8 火	北海道旭川市	旭川市民文化会館

※10 木	岩手県北上市	北上市文化交流センター さくらホール
※11 金	山形県西村山郡	河北町総合交流センター サトベに花
※13 日	茨城県水戸市	茨城県立県民文化センター
※14 月	千葉県君津市	君津市民文化ホール
※15 火	東京都北区	北とびあ
※16 水	静岡県富士市	ロゼシアター
※17 木	東京都練馬区	練馬文化センター
※18 金	東京都八王子市	いちようホール
※20 日	愛知県豊橋市	穂の国とよはし芸術劇場

※21 月	岐阜県多治見市	多治見市文化会館
※22 火	兵庫県高砂市	高砂市文化会館
※23 水	大阪府大阪狭山市	大阪狭山市文化会館
※24 木	岐阜県瑞浪市	瑞浪市総合文化センター
※26 土	山梨県甲府市	コラーニー文化ホール
※27 日	愛知県春日井市	春日井市民会館
※28 月	岐阜県岐阜市	岐阜市民会館
※30 水	栃木県宇都宮市	栃木県総合文化センター
※31 木	神奈川県厚木市	厚木市文化会館